



# Ecoライフ大作戦 - 053ステージ2 -



## 1人1日1.5kg CO<sub>2</sub>削減しよう!

1人1日1.5kgCO<sub>2</sub>削減に向けて、できることから始めましょう!!

削減方法	1日あたりのCO <sub>2</sub> 削減量
<b>●照明の使い方を見直そう!</b> 白熱電球を電球型蛍光灯に取り替え	53g
<b>●省エネ家電を選択しよう!</b> 冷凍冷蔵庫を買うとき・買い換えは省エネルギータイプを選ぶ	57g
<b>●トイレの使い方を見直そう!</b> 暖房便座は使わないときにはふたを閉める	63g
<b>●自動車の使い方を見直そう!</b> 車に乗るのをやめる(1kmあたり) 発進時にはアクセルをふんわりと踏む カーエアコンの温度・風量をこまめに調節	232g 636g 890g
<b>●電化製品の使い方を見直そう!</b> 1時間テレビの電源を切る 電気ポットを長時間保温せず、お湯を使うときに沸騰させる	96g 141g
<b>●お風呂での行動を見直そう!</b> お風呂は間隔をおかずに入り、追いだきはしない	218g
<b>●台所での行動を見直そう!</b> 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない ジャー炊飯器の「保温」をしない	58g 57g

今回、広報紙とともに配布したパンフレットにも、家庭の暮らしの中で実行できるCO<sub>2</sub>削減メニューを掲載しています。パンフレットを参考に地球温暖化防止行動を実践しましょう!!

### CO<sub>2</sub>削減出前講座を開催します!

市では地球温暖化に関する知識を深め、一人一人の地球温暖化防止行動につなげるため、全町内会においてCO<sub>2</sub>削減出前講座を開催します。詳細な日程については、今後お知らせしますのでぜひご参加ください。

# とまこまい 053発! みんなでとめよう温暖化!!

エコ 地球にeco としよう!!



えこまる

1人1日1.5kg CO<sub>2</sub>を削減  
地球温暖化の原因である温室効果ガスを削減することは、産業部門や運輸部門での削減はもろろんのことですが、家庭部門での削減も重要です。市民の皆さんの協力のもと、一人一人の温室効果ガス削減に向けた行動がなければこの

問題を解決することはできません。CO<sub>2</sub>削減の行動を生活の中で実践し、温暖化防止に向けた行動を少しずつ始めることが必要です。  
**私たちの地球を守るために**  
今、私たちの暮らしが原因で進行している地球温暖化を防止するためには、膨大なエネルギー消費

に支えられた私たちのライフスタイルを見直し、CO<sub>2</sub>排出量の少ない低炭素社会を築くことが最も大切なことです。  
「私ひとり地球温暖化防止に取り組んでも何も変わらない」と思いかも知れませんが、一人一人の小さな行動がひいては大きな変化につながるのです。

# みんなできめよう地球温暖化!!

地球温暖化の進行を止めるには、温室効果ガスの排出削減を図り、国や地方公共団体、事業者、市民がそれぞれの役割に応じた取り組みを着実に進めていかなければなりません。苫小牧市においては「苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、この目標に向けて温室効果ガス削減の行動をすとも、ecoライフ大作戦「1人1日1.5kg CO<sub>2</sub>削減」に取り組みます。

## 市の温室効果ガス排出状況

苫小牧市の温室効果ガス排出の実態は、1990年度と比べ、2005年度は温室効果ガス総量で7.8%の増加となっています。部門別に見ると産業部門は減少していますが、業務部門・家庭部門・廃棄物部門は増加となっています。

## 市の取り組み

苫小牧市では、「苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画」を本年2月に策定し、温室効果ガス排出量の削減を目指しています。また、今年度は一昨年前に展開したゴミの減量とリサイクルの推進に特化した「053(ゼロ)み」大作戦」をより広範な環境問題への取り組みに発展させた「ecoライフ大作戦」を実施しています。この大作戦においては、「地球環境」の保全を柱の一つに掲げ地球温暖化防止に取り組みます。

## 苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画の概要

- < 目的 > 市民・事業者・市の各主体がそれぞれの役割を果たしながら互いに連携して取り組みを実行し、市域全体の温室効果ガス排出量の削減を目指します。
- < 期間 > 2009年度から2017年度の9年間とします。また、基準年は京都議定書の基準年度にあわせ、1990年度とします。
- < 対象 >
  - 対象部門 産業部門、業務部門、家庭部門、廃棄物部門の4部門とします。
  - 対象の温室効果ガス 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素とします。



- < 削減目標 > 2017年度の温室効果ガスの削減目標は、部門ごとに排出量または単位あたりの排出量で設定しました。

部門	項目	単位	1990年度	目標	2017年度
産業部門	排出量	千t-CO <sub>2</sub>	1,770	15%	1,504
業務部門	床面積1㎡あたり排出量	t-CO <sub>2</sub> /㎡	0.257	12%	0.226
家庭部門	一世帯あたり排出量	t-CO <sub>2</sub> /世帯	6.72	7%	6.25
廃棄物部門	一世帯あたり排出量	t-CO <sub>2</sub> /世帯	0.480	15%	0.408

- < 目標達成に向けた対策 >

6つの対策の柱と6つの重点対策を掲げ、目標達成に取り組みます。

対策の柱	重点対策
省エネルギーの推進	省エネルギー対策を推進します
新エネルギーの導入	新エネルギー導入を推進します
自動車利用の抑制	マイカー利用抑制やエコドライブを推進します
廃棄物の削減	3Rの推進により焼却処理量を減らします
緑化の推進	緑化事業を推進します
環境教育の推進	環境教育・環境学習を推進します

- < 計画の推進 >

- 苫小牧市環境基本計画推進会議(三者協働組織)と庁内組織で推進します。
- 最新の温室効果ガス排出量は毎年公表します。
- 計画の進捗状況は、環境白書、インターネット、広報紙により公表します。

計画書の詳細はホームページ( <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> )で環境保全課(検索) 市役所2階情報コーナー、図書館でご覧になれます。